

メンテナンスキット2 設置方法と月1回のメンテナンス方法



【設置方法】

本体への取り付けは、左・下の写真のように既設(本体)のビスを外し、そこに付けて下さい。

エアホースの接続口は、お客様でご用意下さい。

【月1回のメンテナンス方法】

* 続いて抽出口より行なう。



* 最初は上タンク内より行なう。



- ① 蒸気取入口を外します。
(この作業はタンクが十分冷えてから行って下さい。)
- ② タンク内に約500cc位の容器に入れた洗浄シンナーを用意します。
- ③ このメンテナンスキット2先端からの青いホースの端を②の容器に入れ洗浄シンナーを吸上げるようにします。(ホースは極力真直ぐに)
- ④ 左写真のように、タンク内の蒸気取入口に押し付け、洗浄シンナーまじりのエアを送り込んでください。
- ⑤ ②の洗浄シンナーが無くなれば1クール終了です。通常2クールです
- ⑥ 続いて、抽出口から行って下さい。
- ⑦ 蒸気取入口を取付けます。
(締込み強度はある程度強めにして下さい。..モレ原因となります)

メンテナンスキット2 毎回メンテナンス方法

蒸留毎回時とライナーバック交換時には必ず①②③を実行して下さい。



- ① 左写真のように、タンク内の蒸気取入口にメンテナンスキット2の先端を押し付けてエアを送り込んで下さい。
(この作業はタンクが十分冷えてから行って下さい。
.....火傷の原因となります。)

〔 エアを送ることにより、コンデンサー内に残っている再生液や、溶剤の滓が再生液出口に排出されます。
(再生液受容器を替えて行って下さい。) 〕

- ② ライナーバックを装着する前に必ず、タンク内清掃の為、エアブローしてください。

〔 タンク内に残液やゴミ等がある場合、タンクに焦げ付きができ、ヒーター効率を悪くします。 〕

- ③ 本体背面のコンデンサー部分に埃、ゴミ等が付着している場合はコンデンサーに直接エアブローをして下さい。

〔 埃、ゴミ等が詰ってくると、冷却機能が低下し、再生液が冷えて排出できなくなります。 〕

- ④ 月に1度は必ず月1回メンテナンスを実行してください。



Shinyu 進勇商事株式会社
OSAKA JAPAN
大阪市淀川区三津屋南3丁目16番3号
TEL.06-6886-1722 FAX.06-6886-1723
<http://www.shinyusan.com>